

平成22年度生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(評価編)

シンポジウム:具体的な事業評価の支援について



栃木県国保連合会における事業評価支援

～ 生活習慣病レセプトと健診結果の突合によるデータベースの提供 ～

栃木県国民健康保険団体連合会
保健事業課 小田川典子





栃木県の特徴

- * 人口: 2,005,134人
- * 世帯数: 709,346世帯
- * 県民所得: 3,104,000円
(全国7位)
- * 全国NO1: いちご・かんぴょう
- * NO2: にら・生乳
- * 平均寿命
男: 78.01(全国40位)
女: 85.03(全国46位)
(栃木県公式HPより)

死亡の特徴

- * 年齢調整死亡率では女性が全国的に高位
- * 脳血管疾患死亡が高位(特に女性)
昭和50年代より高位をキープ
- * 周産期死亡は低率

医療の特徴(高い⇒低い)

- * 入院受療率: 全国35位
- * 外来受療率: 全国35位
- * 平均在院日数
全病床: 全国17位(34.4日)(除く介護療養)
介護療養病床: 全国2位(447.1日)
- * 医療費(国保一人当たり): 全国44位(H20年度)
- * 後期高齢者医療 : 全国40位(H20年度)
- * 介護給付費: 37位(平成21年12月審査分)
(予防サービス+介護サービス)
(厚生労働省大臣官房統計情報部)
- * 市町村保健師数: 417名(平成22年度)

2009国民衛生の動向・国保実務



生活習慣病状況

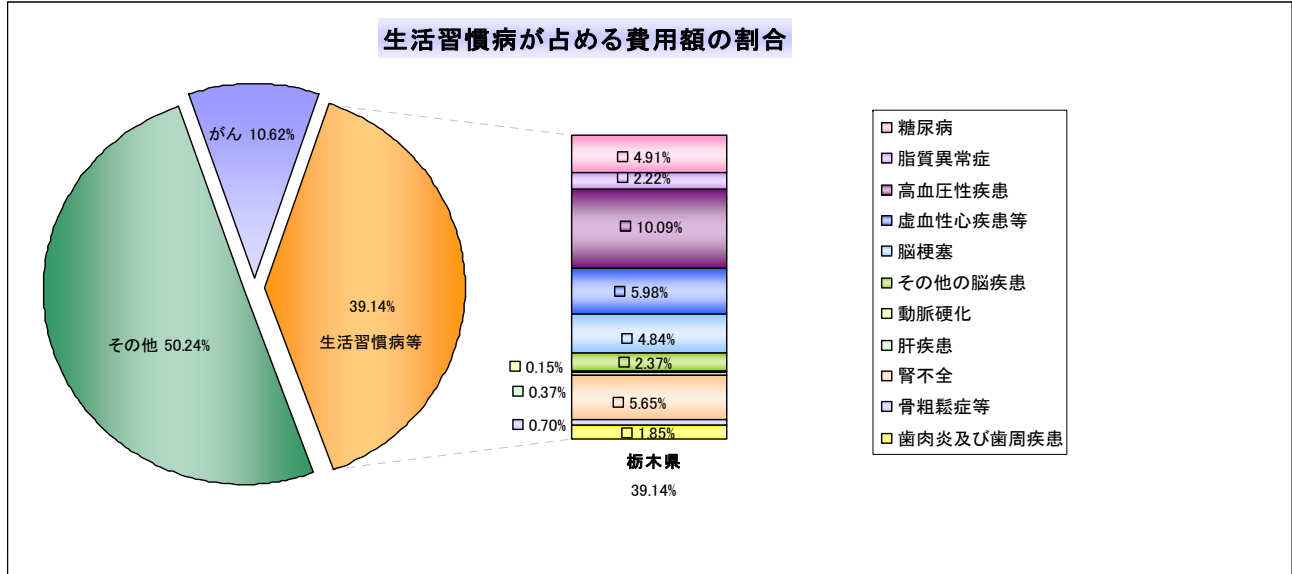
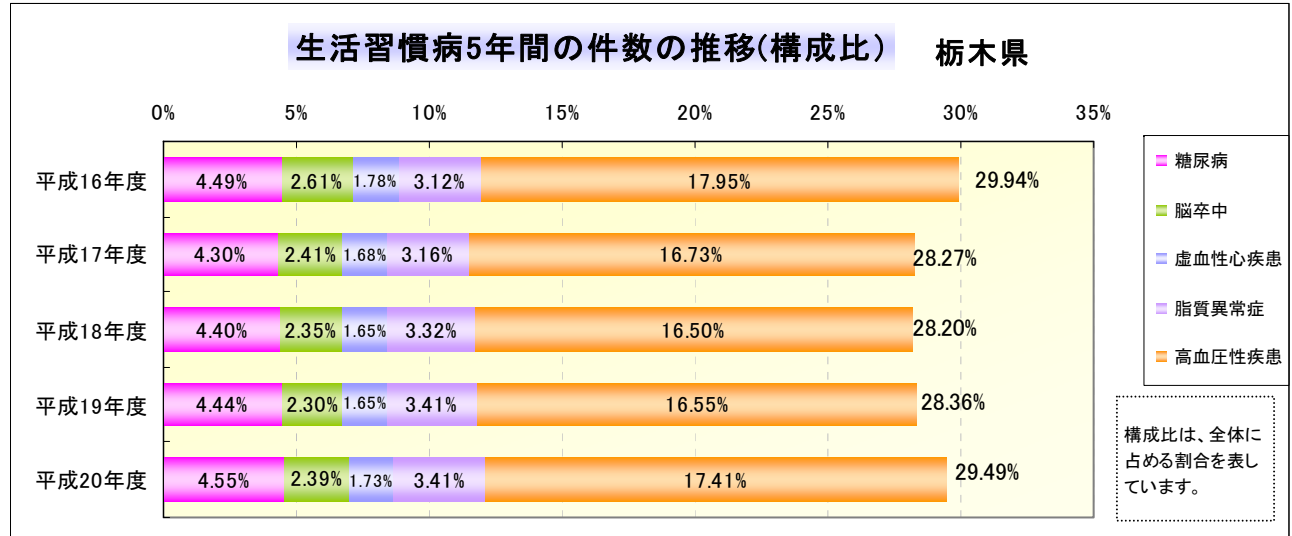
～平成20年度目で見ると栃木県の疾病状況～

国民健康保険の概況



- * 保険者数: 31 保険者
- * 被保険者数: 615, 227人
- * 加入率 : 30.66%
- * 世帯数: 322,541人
- * 診療費: 17,137円
(一人当たり)

(H20年5月疾病統計資料より)





栃木県国保連合会の保健事業概要



生涯元気で活力ある地域づくり支援

◆人材育成

- * 健康づくり推進員、在宅保健師を中心に地域で活動する人材育成
- * 平成20年度より前期高齢者によるオピニオンリーダー育成(モデル)

◆医療情報の提供による科学的根拠に基づく保健事業支援

- * 疾病統計ビジュアル化(年1回)、生活習慣病5疾病情報(毎月)
- * 特定健診・生活習慣病5疾病データ突合によるデータベース提供

◆地域・職域保険連携の強化による保健事業の実効性を高める

- * 保険者協議会をとおり市町の特定健診等体制整備支援

◆特定健診・特定保健指導の支援強化

- * 円滑な実施のための研修会
- * 特定健診実践者育成研修会の開催(保険者協議会主催)
- * 特定健診受診率向上支援(今年度新規)

モデル事業:電話による受診勧奨(データベースを活用)

◆特定健診データ管理業務





特定健診・保健指導の実施体制1

特定健診

集団健診	17市町
集団+個別	13市町

- * 集団健診機関: 4機関(保健指導含む)
- * 個別健診実施機関: 7郡市医師会
(569機関)

特定保健指導

直営	21市町
一部委託	5市町
委託のみ	4市町

自己負担(健診)

あり	22市町
なし	8市町





特定健診・保健指導の実施体制2

他の検診との同時実施について(%)

	同時実施	一部実施機関 で同時実施	同時実施なし
がん 検診	21 (70)	8 (26.7)	1 (3.3)
肝炎 ウイルス	19 (63.3)	9(30.0)	2(6.7)
生活機 能評価	27 (90)	2(6.7)	1(3.3)

追加検査項目(全員に実施した市町%)

貧血	70
心電図	73
眼底	50
HbA1c	33.3
血清クレアチニン	33.3
尿酸値	16.7
尿潜血	40.0

平成21年8月に全国の市区町村国保に厚労省が実施した
特定健診・保健指導実施状況アンケート調査結果として
県・健康増進課がまとめ公表した資料より抜粋

自己負担(保健指導)

あり	0市町
なし	30市町



H20年度特定健診等結果概況(全国比)

平成20年度 特定健診等概況

～法定報告結果より～

全国のデータは国保中央会提供の
資料より抜粋

		全国	栃木
受診率	計	31.2%	26.6%
	男	26.7%	23.0%
	女	35.2%	30.1%
保健指導	積極的支援 対象者	4.2%	4.5%
	利用者	19.8%	30.1%
	終了者	10.4%	15.5%
	動機付け支援対象者	11.0%	11.0%
	利用者	24.0%	27.9%
	終了者	17.2%	22.3%
メタリックシンドローム	内臓脂肪症候群該当	16.5%	15.3%
	予備群該当	11.7%	13.1%
	該当+予備群	28.2%	28.4%



特定健診等に関する保険者支援状況（H19）

1、全保険者訪問による制度の周知と計画書作成支援

県（国保・健康増進・研修担当者）とチームを組んで 同行訪問

- ・実施体制に関する対面アンケート
- ・実施計画のためのアセスメントシートの提供

2、計画書作成支援のための研修会

- ・疾病統計ビジュアル化システムの活用による課題の抽出
- ・PCを使い、「絞込みシート」に疾病状況および医療費状況を絞り込むことで課題を表面化

3、特定健診等実践者育成研修会（保険者協議会主催）

- ・県（健康増進）より保険者協議会が委託を受け、県内各医療保険者および実施機関の人材育成研修を開催（県内3地区）
（標準的プログラムの人材育成研修会の基本プログラムを基に企画）





特定健診等に関する保険者支援状況（H20）

1、特定健診等実践者育成研修会（保険者協議会主催）

- ・県（健康増進）より保険者協議会が委託を受け、県内各医療保険者および実施機関の人材育成研修を開催（県内2地区）
- ・国の示す研修会プログラムに「実践編」を追加し保健指導の実践力の強化を支援

2、ミニシンポジウムと情報交換会の開催（県内国保関係者）

- ・モデル事業で実施されていた近県の事例報告
- ・全国的な取組み状況報告
- ・情報交換と全体討論（特定保健指導の現状と課題）

見えてきたこと

- ・保険者サイドでも制度の理解が不十分
- ・国保とヘルスの連携が不十分
- ・保健師の軸が揺れている





特定健診等に関する保険者支援状況（H21）

1、特定健診結果と生活習慣病5疾病データの突合によるデータベース提供（21年9月・22年3月）

2、特定健診等担当者研修会（21年9月）

データベースの提供およびデータベースの活用方法
実施体制の評価
情報交換

3、特定健診保健指導データ活用研修会（22年3月）

データベースの提供およびデータベースの活用方法
未受診者に特化したデータ整理と未受診者現状把握について

4、特定健診等実践者育成研修会（保険者協議会主催）

- * 実践編において保健指導の実践強化
- * フォローアップ研修会を開催し、事業評価につながるシンポジウム



1、特定健診結果と生活習慣病5疾病データの突合による

データベース提供その1 (21年9月)

* **目的**: 特定健診対象者の健診結果と疾病状況を明確にし、特定健診等事業の充実を図る

- (1) 受診率向上支援
- (2) 受診勧奨(受診勧奨値を有するもの)者の状況把握
- (3) 医療管理にあるものの状況把握
- (4) 特定健診・特定保健指導事業評価資料

* **突合データ構成**

(1) 特定健診データ

- ① 平成20年度特定健診受診者CSVファイル(FKAC131)
- ② 同年度特定健診結果情報作成抽出ファイル(FKAC161)

(2) 生活習慣病5疾病データ

- ① レセプトデータ(H20年5月診療分)

* **作成方法**

Excel使用

個人を特定できる独自の共通番号コードを作成し(1)および(2)を突合





データベース提供と活用支援の研修会

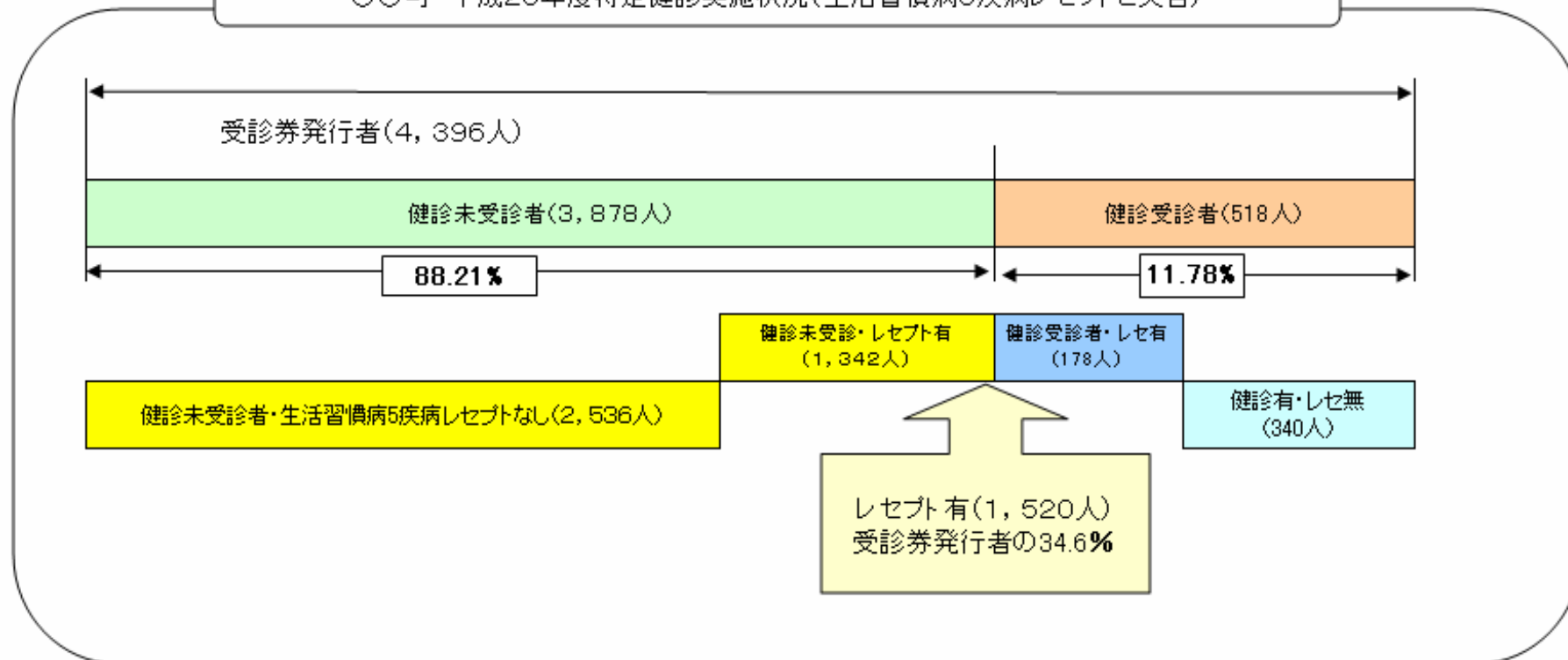
提供したデータ(データベースからグラフ化し市町の全体像が見える)

- ①平成20年度特定健診実施状況
- ②年齢階層別、性別、特定健診受診者数・未受診者数及び受診率
- ③年齢階層別、性別、特定健診受診者における生活習慣病レセプト保有状況
- ④年齢階層別、性別、生活習慣病レセプト保有者におけるメタボリックシンドローム判定結果
- ⑤年齢階層別、性別、生活習慣病レセプト保有者におけるメタボリックシンドローム判定結果(疾病別)
- ⑥年齢階層別、性別、生活習慣病レセプトの有無と階層化判定結果
- ⑦年齢階層別、性別、特定健診受診勧奨値保有者における生活習慣病レセプト保有状況

研修内容

1. データベースの活用方法
2. 事前アンケートによる実施体制のグラフ化(特定健診等の実施状況が評価できるように)
3. 情報交換
グループ討議方式をとり、情報交換

〇〇町 平成20年度特定健診実施状況(生活習慣病5疾病レセプトと突合)



○ 特定健診対象者人員(40歳~74歳) 4,063人

平成20年4月1日現在

○ 受診者人数 518人

平成21年7月31日現在

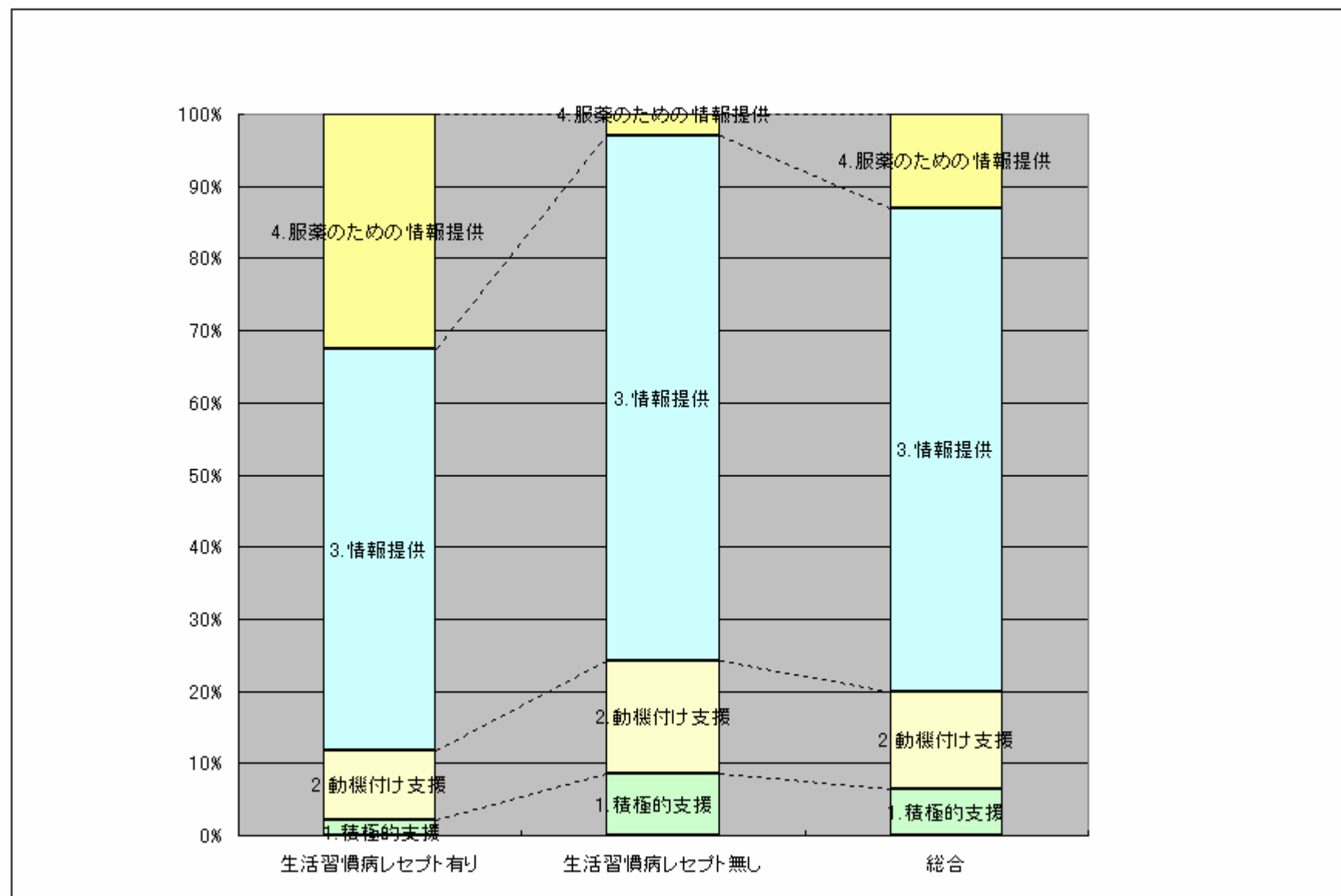
○ 生活習慣病5疾病リスト

平成20年9月診療分

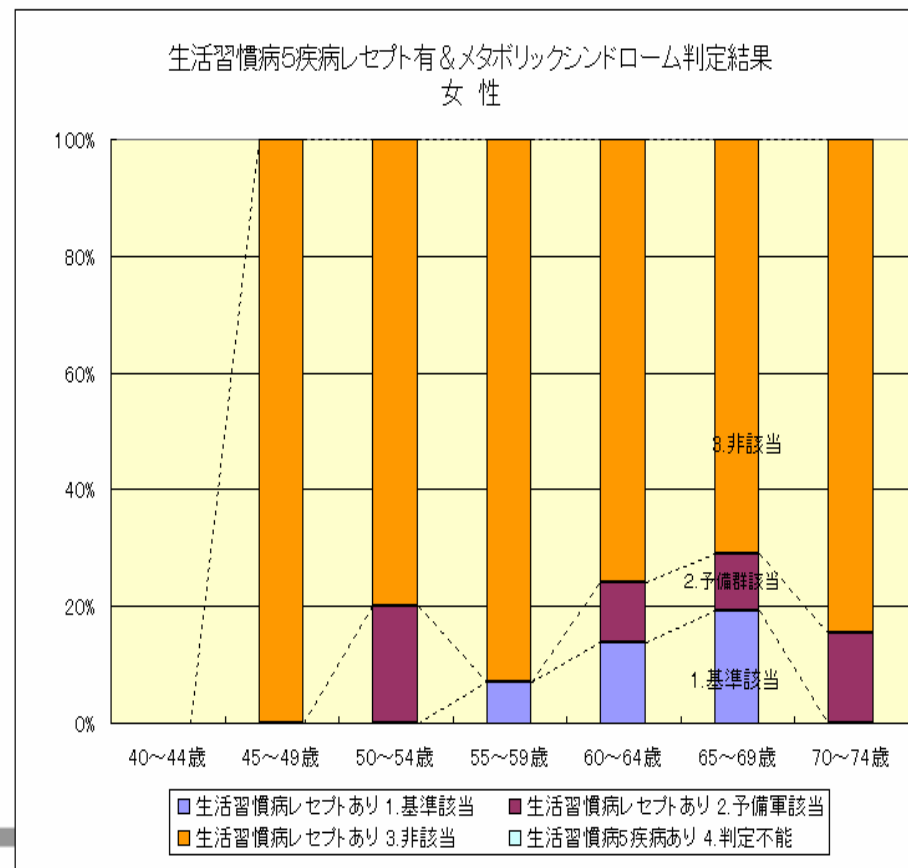
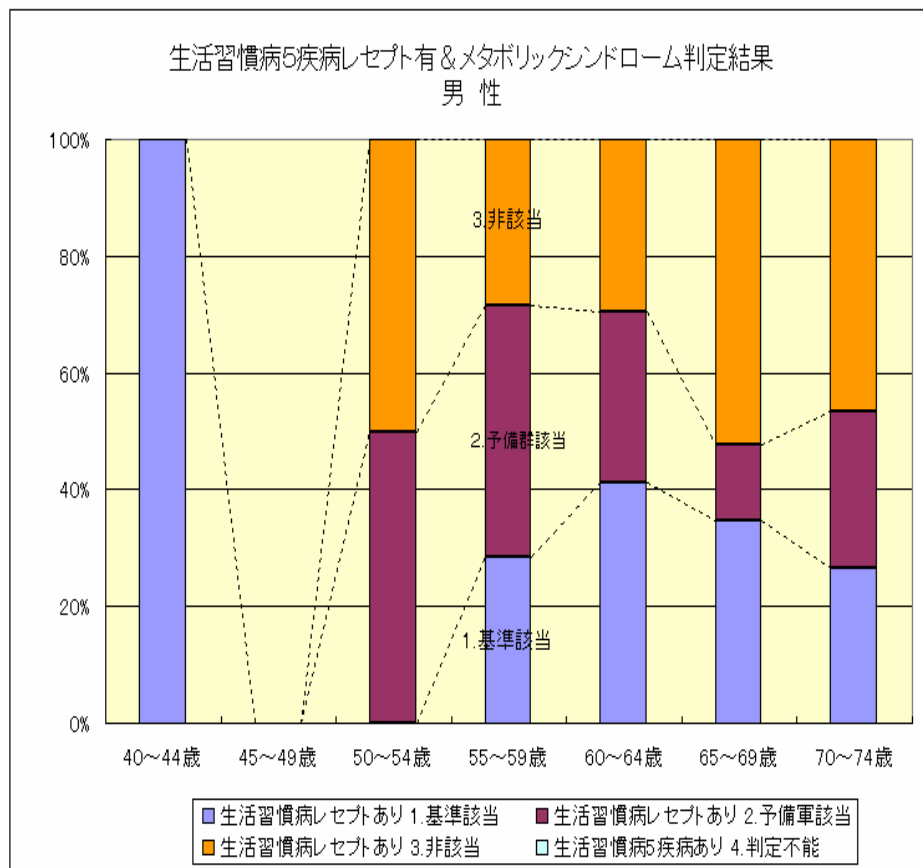
○ 受診率 = 健診受診者 ÷ 受診券発行人数

○ レセプト保有率 = レセプト保有者 ÷ 受診券発行人数

(6) 年齢階層別 性別 生活習慣病5疾病レセプトの有無と階層化判定結果



(4) 年齢階層別 性別 生活習慣病5疾病レセプト保有者におけるメタボリックシンドローム判定結果



実施体制評価に繋がる研修会事前アンケート結果の提供

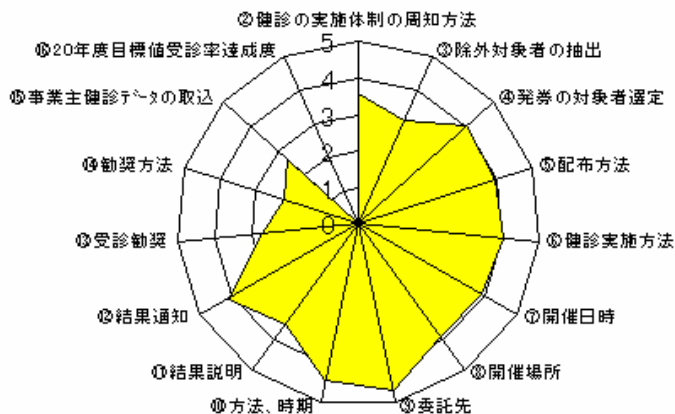
特定健康診査及び特定保健指導状況

全体平均（29市町）

< 特定健康診査 >

- ① 制度の周知方法
- ② 健診の実施体制の周知方法
- ③ 除外対象者の抽出
- ④ 発券の対象者選定
- ⑤ 配布方法
- ⑥ 健診実施方法
- ⑦ 開催日時
- ⑧ 開催場所
- ⑨ 委託先
- ⑩ 方法、時期
- ⑪ 結果説明
- ⑫ 結果通知
- ⑬ 受診勧奨
- ⑭ 勧奨方法
- ⑮ 事業主健診への取込
- ⑯ 20年度目標値受診率達成度

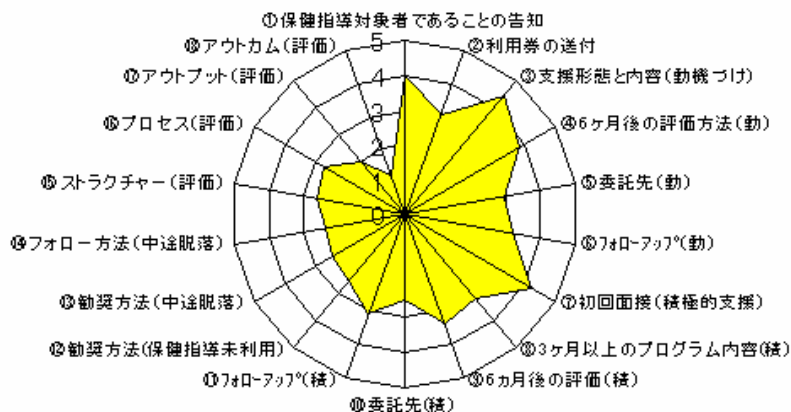
< 特定健康診査 >



< 特定保健指導 >

- ① 保健指導対象者であることの告知
- ② 利用券の送付
- ③ 支援形態と内容(動機づけ)
- ④ 6ヶ月後の評価方法(動)
- ⑤ 委託先(動)
- ⑥ フォローアップ(動)
- ⑦ 初回面接(積極的支援)
- ⑧ 3ヶ月以上のプログラム内容(積)
- ⑨ 6ヶ月後の評価(積)
- ⑩ 委託先(積)
- ⑪ フォローアップ(積)
- ⑫ 勧奨方法(保健指導未利用)
- ⑬ 勧奨方法(中途脱落)
- ⑭ フォロー方法(中途脱落)
- ⑮ ストラクチャー(評価)
- ⑯ プロセス(評価)
- ⑰ アウトプット(評価)
- ⑱ アウトカム(評価)

< 特定保健指導 >



【アンケート結果の点数化】 A: うまくいっている・・・5 B: あまり上手くない・・・3 C: 課題がある・・・1

《実施後のアンケート結果》

◆研修会の内容で有効だったもの(一番多かった答え)

①情報交換(他の市町の実施方法)が有効であった。

* 同じような課題を持ち不安を抱えながら取り組んでいることが分かって勇気をもらった。

◆もっと深めたいものは何か？

①好事例の報告が聞きたい

◆今後どのような研修を望むか？

①情報交換

◆今後のデータ提供に関してどのようなものを希望するか？

①受診勧奨、要治療になった人のレセプトデータ

②地区単位の受診率、参加率

③今回のようなデータおよび読み取り結果

《研修会およびデータ提供に関する課題》

◆具体的な取り組みに繋がるデータの提供を強化

・特定健診対象者の3割が生活習慣病関連のレセプトを持っていることがあきらかになった

⇒医師会との連携、対象者への制度の周知、他健診のデータ取得方法の必要性

・受診率向上のためのデータベースの強化

⇒未受診者の状況をあきらかにできるようなデータベース

◆実践者育成研修会で好事例の提供の強化

2、特定健診結果と生活習慣病5疾病データの突合による データベース提供 その2(平成21年3月)

栃木県の現状を見ると受診率を高めるための支援が必要と判断
データベースより未受診者をセグメント化した表を作成し現状を提起した

経年で、特定健診対象者の健診結果と疾病状況突合することで、対象をセグメント化し、より実効性の高い事業展開、事業評価に繋げる。

(1) 受診率向上支援

未受診者の状況把握⇒それによる健診受診勧奨対象の優先順位および勧奨方法の具体化

(2) 受診勧奨(受診勧奨値を有するもの)者の状況把握

受診勧奨対象者の受診状況、およびメタボ判定状況⇒優先順位および勧奨方法の具体化

(3) 医療管理対象者の状況把握

健診結果(階層化、メタボ判定)とレセプト保有状況⇒保健指導の優先順位



データベースの概要

(1) 使用データ

データ名	備考				
特定健診データ ①特定健診受診者CSVファイル (FKAC_131)	*特定健診等データ管理システムより抽出 ○データ内容 ・個人ごとの特定健診結果情報リスト <table border="1" data-bbox="750 592 1599 740"> <tr> <td>平成 20 年度データ</td> <td>平成 20 年度特定健診対象者における健診結果データ (国への法定報告数) (※1)</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度データ</td> <td>平成 22 年 2 月 2 日付抽出データ</td> </tr> </table> (※1: 平成 20 年度特定健診対象者) ・ H20.4.1~H21.3.31 にて資格を有し、年度内に異動のない者 ・ 40~74 歳 (年度末年齢) ・ 除外対象者でない者 (年度途中での資格喪失者及び加入者は含まない)	平成 20 年度データ	平成 20 年度特定健診対象者における健診結果データ (国への法定報告数) (※1)	平成 21 年度データ	平成 22 年 2 月 2 日付抽出データ
平成 20 年度データ	平成 20 年度特定健診対象者における健診結果データ (国への法定報告数) (※1)				
平成 21 年度データ	平成 22 年 2 月 2 日付抽出データ				
②MATCH データ	*特定健診等データ管理システムより抽出 ○データ内容 ・平成 20 年度特定健診対象者リスト (資格情報) (対象者: 上記※ 1 参照)				
在宅疾病データ (生活習慣病 5 疾病データ) (単月分)	*特定健診等データ管理システムより抽出 ○データ内容 レセプトデータをもとに、単月における個人ごとの医療機関受診状況および生活習慣病5疾病(糖尿病・脂質異常症・虚血性心疾患・脳血管疾患・高血圧性疾患)を掲載 <table border="1" data-bbox="763 1270 1590 1406"> <tr> <td>平成 20 年度データ</td> <td>平成 20 年 5 月~平成 21 年 4 月審査分 (平成 20 年 4 月~平成 21 年 3 月診療分)</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度データ</td> <td>平成 21 年 5 月~平成 21 年 12 月審査分 (平成 21 年 4 月~平成 21 年 11 月診療分)</td> </tr> </table>	平成 20 年度データ	平成 20 年 5 月~平成 21 年 4 月審査分 (平成 20 年 4 月~平成 21 年 3 月診療分)	平成 21 年度データ	平成 21 年 5 月~平成 21 年 12 月審査分 (平成 21 年 4 月~平成 21 年 11 月診療分)
平成 20 年度データ	平成 20 年 5 月~平成 21 年 4 月審査分 (平成 20 年 4 月~平成 21 年 3 月診療分)				
平成 21 年度データ	平成 21 年 5 月~平成 21 年 12 月審査分 (平成 21 年 4 月~平成 21 年 11 月診療分)				

(2) データベースの構成

【個人データ】

- 被保険者氏名
- 被保険者証記号番号
- 生年月日
- 年齢
- 性別

【特定健診結果データ】

(平成 20 年度及び平成 21 年度)

- ①健診受診の有無 (H20 年度、H21 年度)
- ②各年度の特定健診結果
 - メタボ判定
 - 階層化判定
 - 詳細健診有無区分
 - 詳細健診実施区分
 - 受診勧奨判定区分
 - 受診勧奨対象者
 - 服薬 1
 - 服薬 2
 - 服薬 3
 - 服薬有無

【生活習慣病 5 疾病データ】

(平成20年度及び平成21年度)

生活習慣病 5 疾病の有無

- 糖尿病
- 脂質異常症
- 虚血性心疾患
- 脳血管疾患
- 高血圧性疾患
- 3 疾病該当

(3) 掲載情報

◇個人データ

個人データ						
NO	被保険者名 漢字	被保険者証		生年月日	年齢	性別
		記号	番号			
1	00000000		012345	昭和13年2月10日	71	2
2	00000000		023456	昭和9年4月29日	74	2

《項目》

NO	データベース項目	記載内容
1	被保険者名	—
2	被保険者記号・番号	—
3	生年月日	和暦表示
4	年齢	平成21年4月1日現在
5	性別	1:男性/2:女性

◇特定健診結果

特定健診結果													
健診受診の有無		平成20年度										平成21年度	
H20年度	H21年度	メタボ判定	階層化判定	詳細健診有無区分	詳細健診実施区分	受診勧奨判定区分	受診勧奨対象者	服薬1	服薬2	服薬3	服薬有無	メタボ判定	階層化判定
○	×	3	3	2	有	2	○	2	2	2	無		
×	×												

《項目》

NO	データベース項目	記載内容
1	健診受診の有無	各年度における健診受診の有無について、健診結果データの有無に応じ、「○」または「×」にて表示
2	メタボ判定	「メタボリックシンドローム判定結果(判定結果A)」 1.基準該当 2.予備群該当 3.非該当 4.判定不能
3	階層化判定	「階層化判定結果(判定結果B)」 0.判定不能 1.積極的支援 2.動機付け支援 3.情報提供 4.服薬のための情報提供
4	詳細健診有無区分	1:詳細健診なし/2:詳細健診あり
5	詳細健診実施区分	「有」または「無」を設定
6	受診勧奨判定区分	1:受診勧奨対象外/2:受診勧奨対象
7	受診勧奨対象者	「○」または「×」を設定
8	服薬1	血圧を下げる薬の有無 1.有/2.無
9	服薬2	インスリン注射または血糖を下げる薬の有無 1.有/2.無
10	服薬3	コレステロールを下げる薬の有無 1.有/2.無
11	服薬有無	服薬1、服薬2 服薬3の項目が、1つでも 1:(服薬あり)の場合“有”、 2:(服薬なし)の場合“無”

◇生活習慣病5疾病データ

生活習慣病5疾病データ									
平成20年度							平成21年度		
5疾病の有無	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	高血圧性疾患	3疾病該当	5疾病の有無	糖尿病	高血圧性疾患
○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

《項目》

NO	データベース項目	記載内容
1	5疾病の有無	糖尿病・脂質異常・虚血性心疾患・脳血管疾患・高血圧性疾患のうち1つ以上の該当の有無 「○」または「×」にて表示
2	糖尿病・高脂血症 心筋梗塞・脳梗塞 高血圧	各年度を通し、標記疾病おける医療機関受診状況の有無に応じ、 「○」または「×」にて表示
3	3疾病該当	糖尿病・脂質異常・虚血性心疾患・脳血管疾患・高血圧性疾患のうち 糖尿病・脂質異常・高血圧性疾患の3疾病保有の有無 「○」または「×」にて表示

※各年度において、1度でも該当疾病にて受診しているものを収載

(4) 注意事項

* 平成21年度新規健診対象者における健診結果データの収載について

平成20年度において特定健診受診対象者ではなく、平成21年度より対象者となり特定健診を受診した者の健診結果データについて、「平成20年度健診未受診・平成21年度健診受診」として、データベース上に反映している。

データベース提供と活用研修会の資料

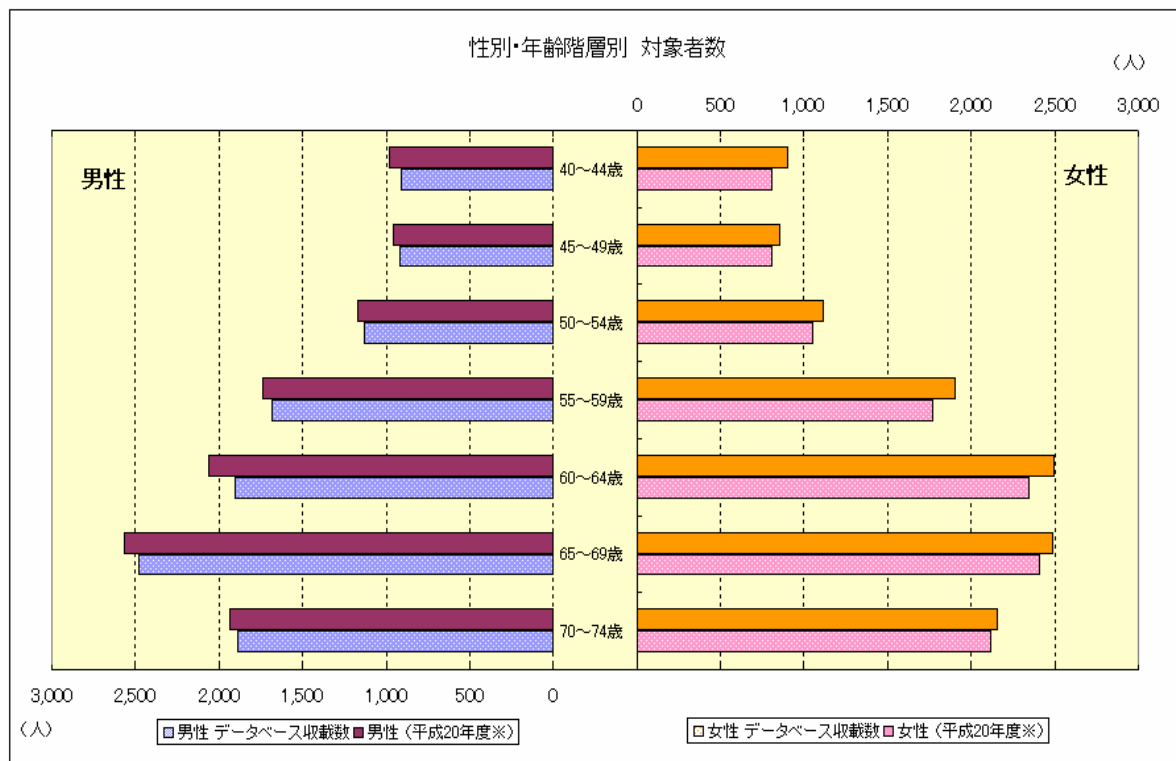
- ◆データベース（CDで国保主管課に配付）
- ◆データベースの概要およびデータベースの活用方法
（オートフィルター、ピボットテーブルを使った抽出方法）
- ◆データベースのから見た特定健診未受診者状況
（未受診者をセグメント化するため、年齢階級別、性別、レセプト保有疾病別にグラフ化した）
- ◆平成20年度法定報告結果（グラフ化）

1. 性別・年齢階層別 対象者数

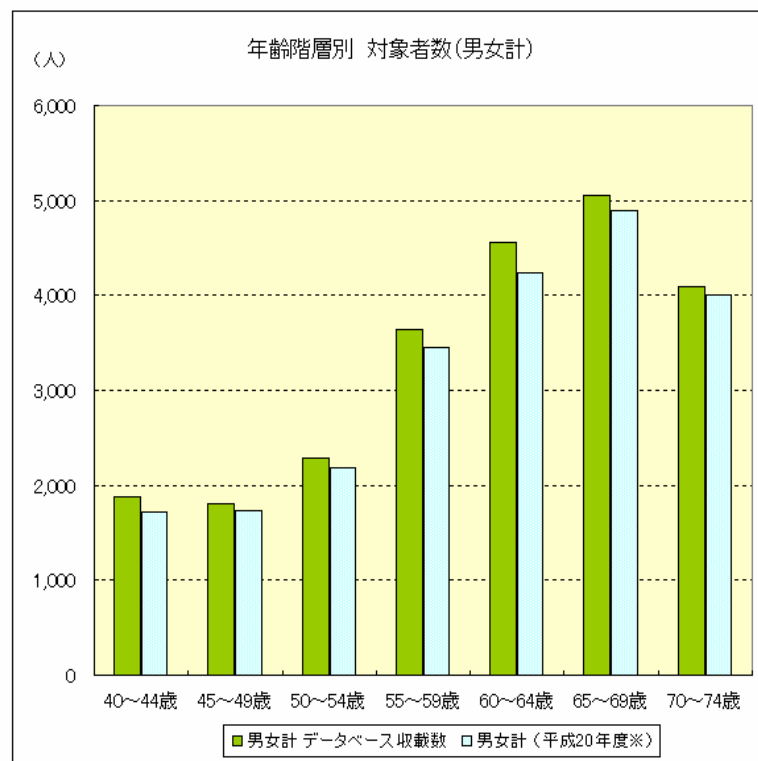
年齢階級	男性		女性		男女計	
	データベース取載数	※平成20年度 特定健診対象者	データベース取載数	※平成20年度 特定健診対象者	データベース取載数	※平成20年度 特定健診対象者
40～44歳	979	912	903	806	1,882	1,718
45～49歳	956	921	856	807	1,812	1,728
50～54歳	1,171	1,131	1,117	1,050	2,288	2,181
55～59歳	1,737	1,681	1,902	1,766	3,639	3,447
60～64歳	2,058	1,900	2,495	2,345	4,553	4,245
65～69歳	2,570	2,480	2,489	2,412	5,059	4,892
70～74歳	1,937	1,890	2,156	2,114	4,093	4,004
計	11,408	10,915	11,918	11,300	23,326	22,215

※平成20年度特定健診対象者(法定報告数)
 ・H20.4.1～H21.3.31にて資格を有し、年度内に異動のない者
 ・40～74歳(年度末年齢)
 ・除外対象者でない者(年度途中での資格喪失者及び加入者は含まない)

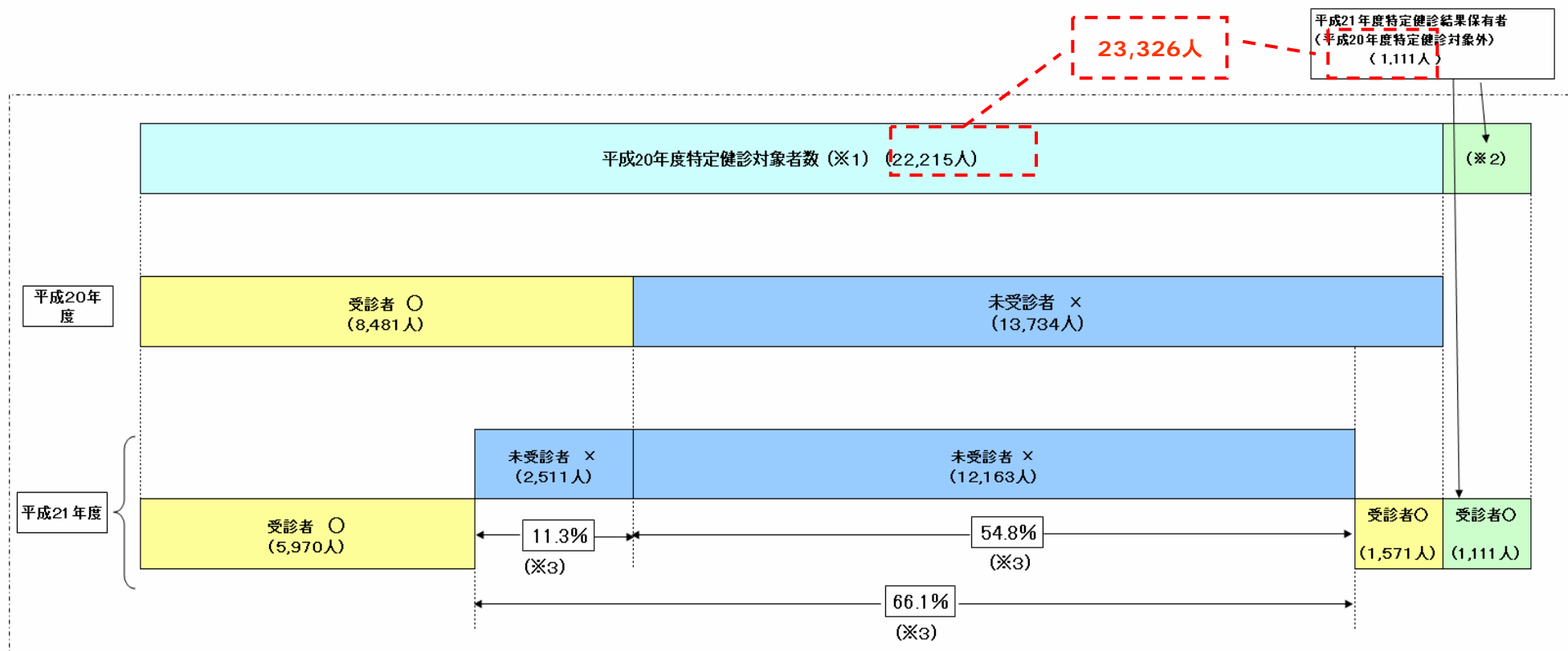
性別・年齢階層別



男女計



2. 平成20年度及び平成21年度特定健診受診状況

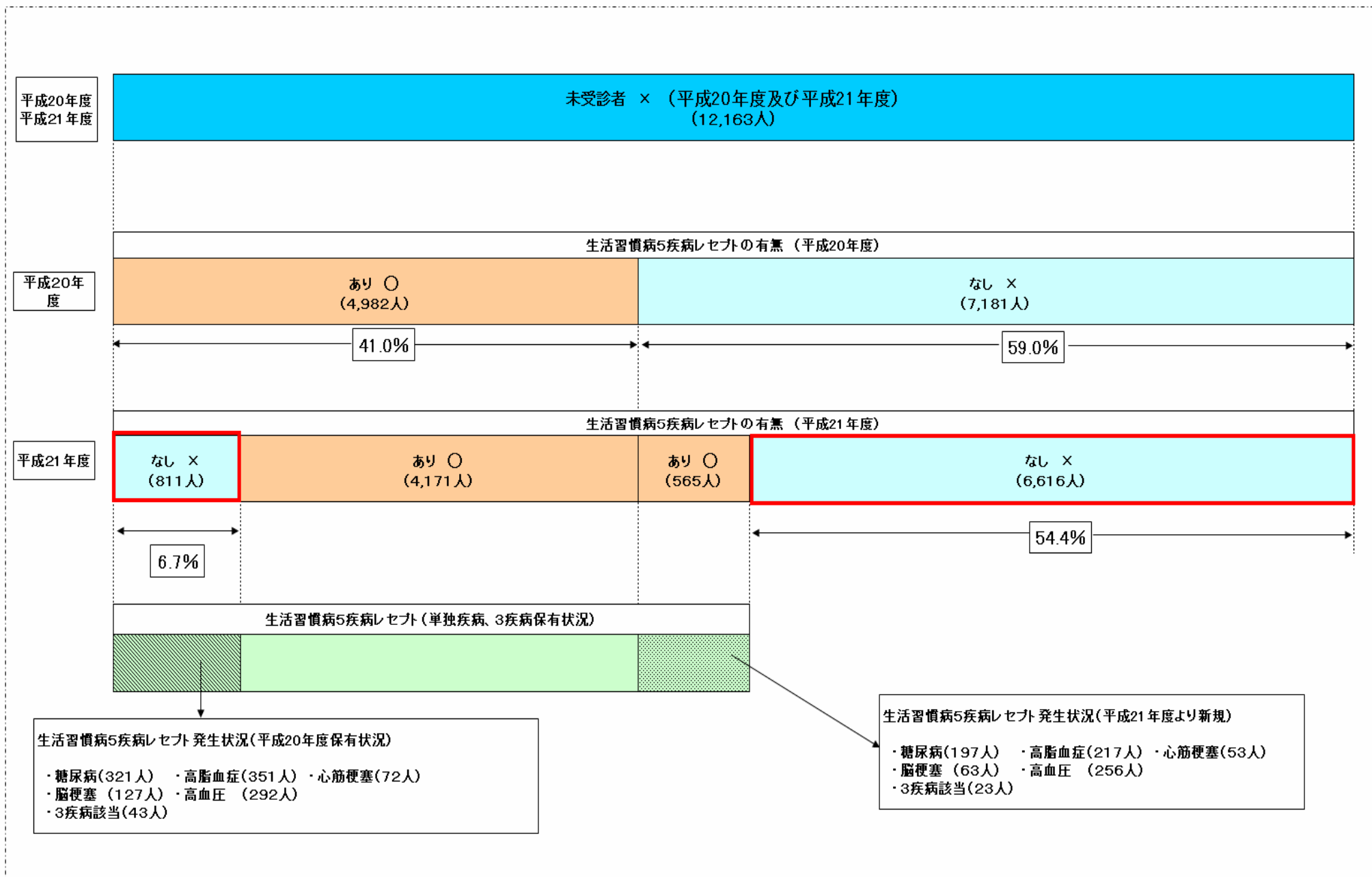


※1 【平成20年度特定健診対象者】
 ・H20.4.1～H21.3.31にて資格を有し、年度内に異動のない者
 ・40～74歳(年度末年齢)
 ・除外対象者でない者(年度途中での資格喪失者及び加入者は含まない)

※2 【平成21年度特定健診結果保有者(平成20年度特定健診対象外)】
 平成22年2月2日時点、特定健診等データ管理システムより抽出した
 特定健診等結果データ(FKAC_131)に収載されているデータ数より算出

※3 【平成21年度特定健診未受診者の割合】
 該当人数÷平成20年度特定健診対象者(22,215人)

4. 平成20年度及び平成21年度特定健診未受診者における生活習慣病5疾病レセプト保有状況



平成20年度及び平成21年度における特定健診受診状況及び生活習慣病5疾病レセプト保有状況

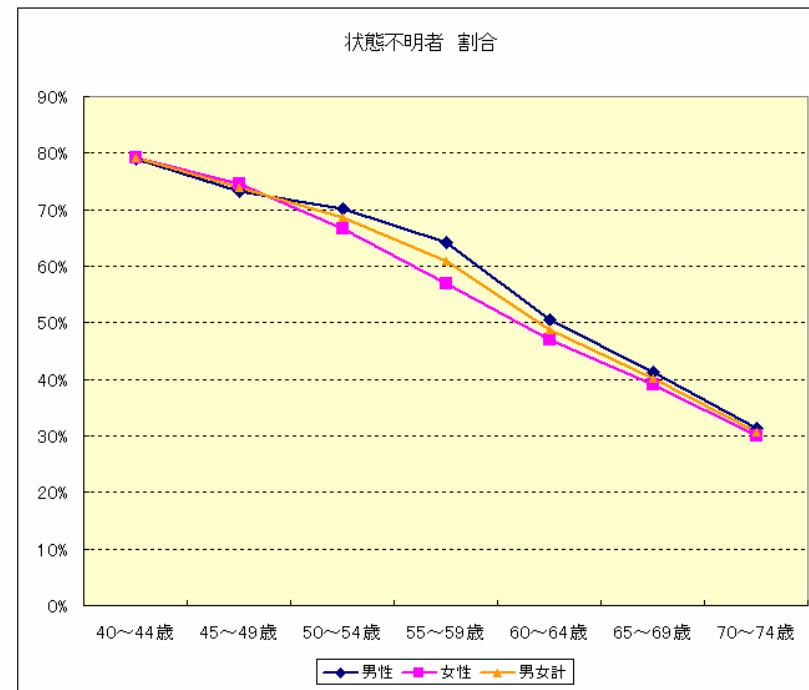
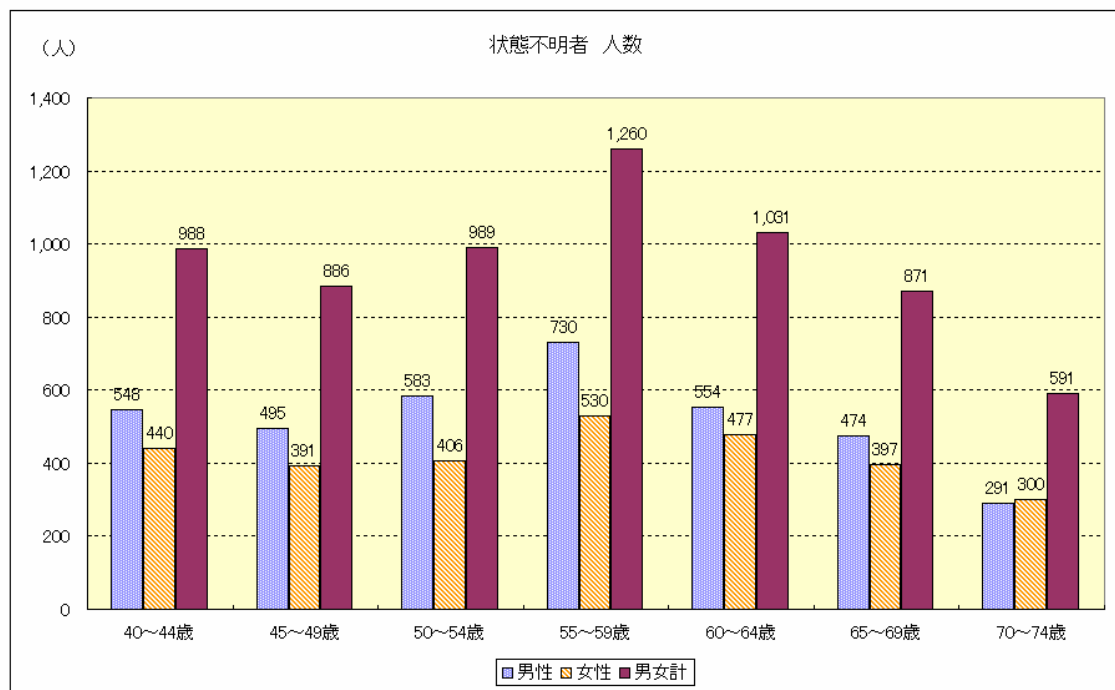
特定健診受診状況		生活習慣病5疾病レセプトの有無(※)		特定健診結果 (受診勧奨の有無)			生活習慣病5疾病レセプトの有無(※)		状態像	対策	
平成20年度	平成21年度	平成20年度		平成20年度		平成21年度		平成21年度			
		人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)				
○ (8,481人)	○ (5,970人)	○	3,471	○	2,213	○	1613	○	1,384	医療機関管理者	G
						×	600	×	229	治療中断?	G2健診結果確認
						○	424	○	524	医療機関管理者	A(健診値確認) or C
						×	834	×	76	良好	A(健診値確認) or C
						○	1,258	○	378	医療機関管理者	A(レセプト確認)
						×	834	×	46	治療中断?	G3orG2(健診結果確認)
						○	1,203	○	693	医療機関管理者	A
						×	1,203	×	141	改善?中断?	A or C
						○	2,499	○	935	新規レセプト発生者(医療機関管理)	G(治療確認)
						×	2,499	×	723	要医療機関管理	G3
						○	1,296	○	268	新規レセプト発生者(医療機関管理)	A
						×	1,296	×	244	改善傾向?	B
						○	988	○	304	新規レセプト発生者(医療機関管理)	G
						×	988	×	992	医療機関管理	G
× (2,521人)	×	○	1,421	○	988	○	779	○	779	医療機関管理	A
						×	433	×	209	状態つかめず	G3
						○	556	○	342	医療機関管理	F
						×	534	×	91	状態つかめず	G1orG2
						○	556	○	74	新規レセプト発生	A
						×	534	×	482	状態つかめず	G3
						○	534	○	46	新規レセプト発生者(医療機関管理)	A
						×	534	×	488	状態つかめず(改善?中断?)	B
						○	737	○	641	医療機関管理	A
						×	737	×	96	中断?	G3
× (14,845人)	○ (2,682人)	○	1,120	○	383	○	328	○	328	医療機関管理	A
						×	55	×	55	改善?中断?	B
						○	889	○	276	新規レセプト発生者(医療機関管理)	AorD
						×	673	×	613	医療機関要受診	G3
						○	673	○	103	新規レセプト発生者(医療機関管理)	A
						×	673	×	570	良好?	B
						○	4,982	○	4,171	医療機関管理	A
						×	4,982	×	811	状態つかめず	B
						○	7,181	○	565	医療機関管理	A
						×	7,181	×	6,616	全く状態わからず	B

【対策/記号対照表】
A:治療中、病名によっては健診受診
B:健診受診勧奨
C:良好な管理状態
D:医療機関にて生活指導強化
E:特定保健指導
F:データ不良の場合、治療状況確認
G:医療機関受診、特定保健指導
(1-3にて緊急性増加)

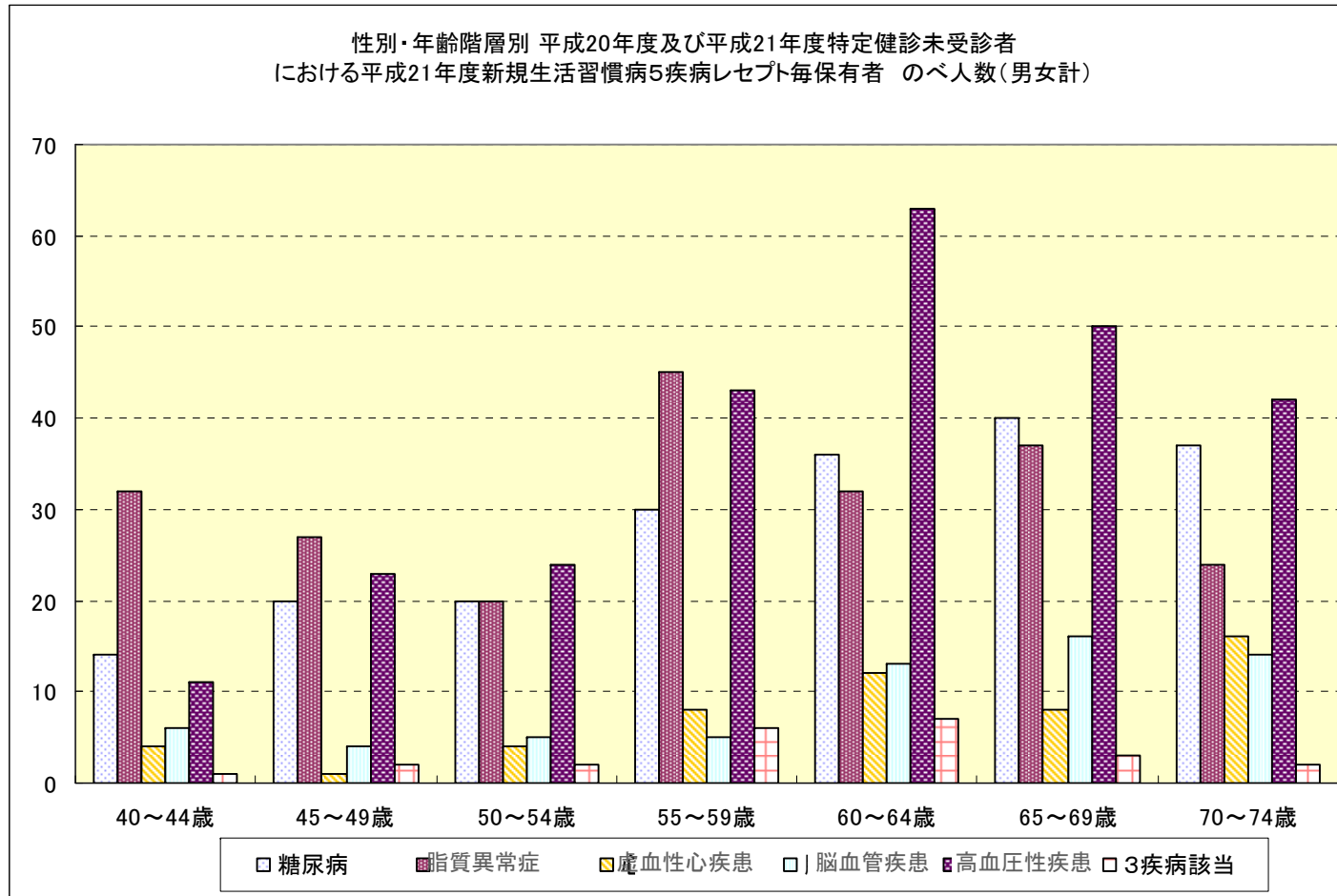
○対象者数 23,326(人)

①平成20年度特定健診対象者数(40~74歳)(22,215人)及び②平成21年度特定健診結果保有者(平成20年度特定健診対象外)(1,111人)

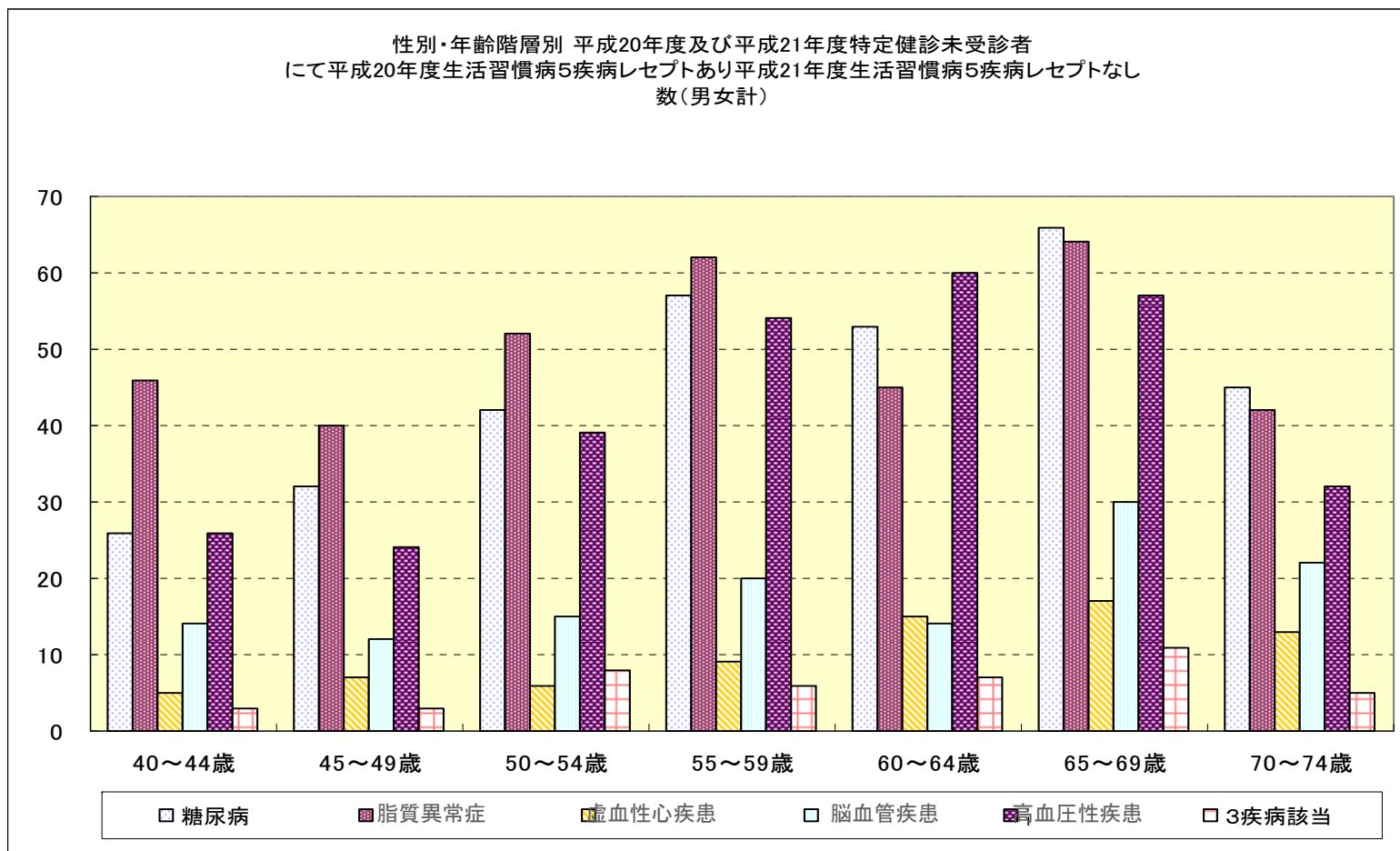
状態不明者状況(6,616人)の状況



平成20年度及び平成21年度特定健診未受診者(12,163人)における 平成21年度新規生活習慣病5疾病レセプト(565人)保有状況



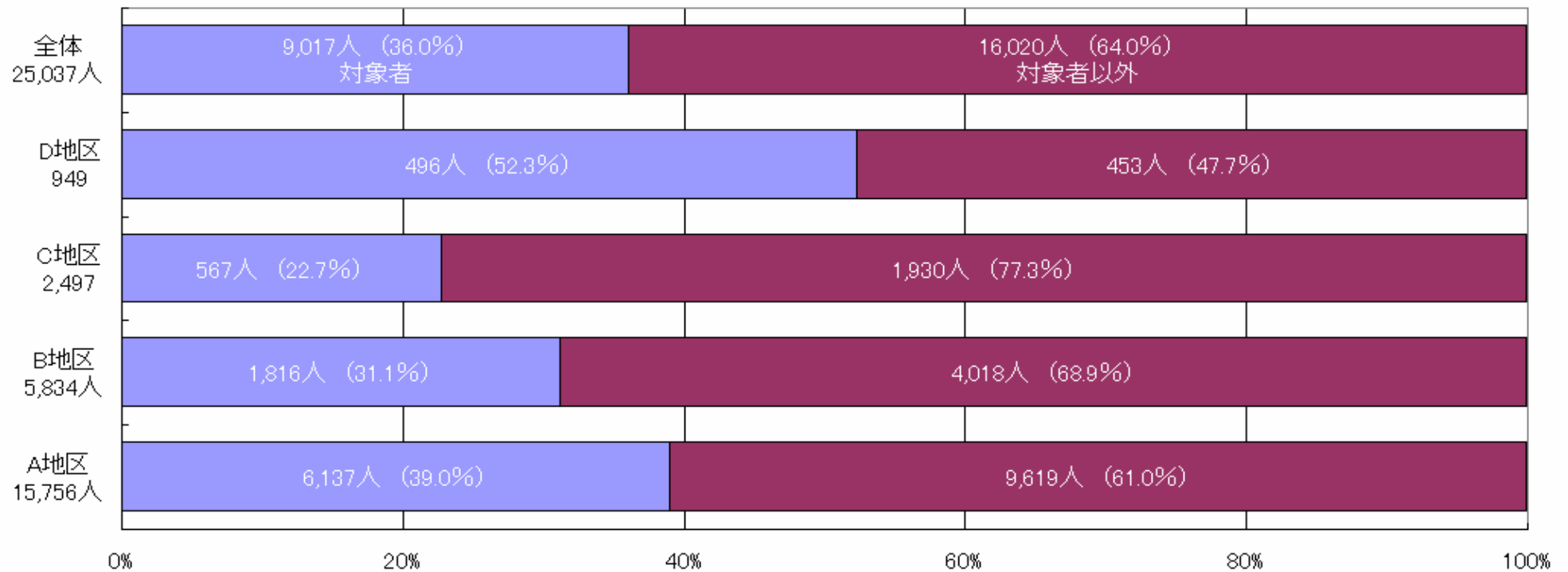
平成20年度及び平成21年度特定健診未受診者(12,163人)における 平成20年度生活習慣病レセプトあり、平成21年度生活習慣病5疾病レセプト(811人)なし



参考資料

特定健診対象者の中の状態不明者(地区別)

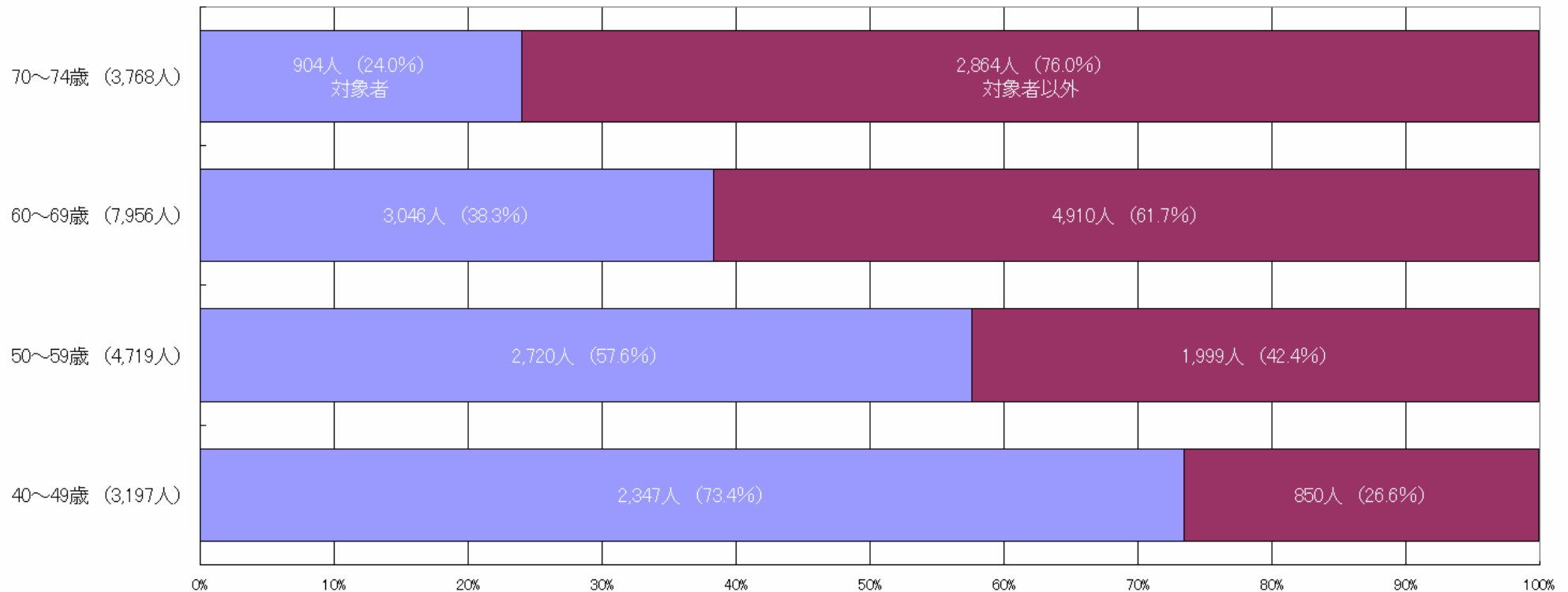
地区ごとの対象者割合	A地区 15,756人	B地区 5,834人	C地区 2,497	D地区 949	全体 25,037人
…対象者9,017名中、1名のみ地区不明					
対象者(人数)	6,137	1,816	567	496	9,017
全体(人数)	15,756	5,834	2,497	949	25,037



参考資料: 未受診者の中の状態不明者(年齢階級別)

平成20年度及び平成21年度特定健診未受診者 (19,640人)のなかで対象者(9,017人)の 年代別割合 ・・・対象者9,017名中、1名のみ地区不明	全体のなかの 2年連続未受診者	対象者の人数	対象者以外
40～49歳 (3,197人)	3,197	2,347	850
50～59歳 (4,719人)	4,719	2,720	1,999
60～69歳 (7,956人)	7,956	3,046	4,910
70～74歳 (3,768人)	3,768	904	2,864

平成20年度及び平成21年度特定健診未受診者(19,640人)のなかで対象者(9,017人)の年代別割合



《データベース提供に関するアンケート結果》

◆データベースの活用方法についての理解

・理解できた＋おおよそ理解できた...92%

◆今後の活用について

・活用できる...72%

* 未受診者の受診勧奨、優先順位ができる

* 全体的な傾向を客観的に見られる資料だった

* 漠然と受診率を上げなくちゃ！っという状況から、ターゲットを絞り込むことで方向性が見えた。

・活用できない理由

* データを加工、分析する時間が取れない

* 個々のケースに対応するためにはデータが少なすぎる



◆課題、改善点等

- * 事業主健診を受けた人のデータ取得方法
- * 健康増進部門と国保の連携強化
- * 個人の健診データが入ったエクセルシートが欲しい
- * データを活用した事例の紹介をして欲しい
- * 分析する時間がない
- * 未受診者勧奨の具体的方法



◆ 要望、意見

- * 従事者にも「動機付け支援」「継続支援」が必要です。頑張ろうとするモチベーションを維持できるような「効果的」な研修会を希望する。
- * 取組み方の検討に参考となり、良いきっかけとなる。
- * 未受診者の状況がレセプトから見える。評価方法についても参考になった。
- * 医療機関受診者の管理については、どうすることが理想的なのか県内で方針を出してもらえると良い。
- * 実際にPCを操作しながら実践できると良かった。
- * 保健指導の効果的な方法、継続で保健指導対象者となる人への対応など、他市町の取組みが参考になるので、情報交換の時間も交えて欲しい。



評価支援の課題と今後の取組み

◆データベースの充実

1、追加予定項目

腹囲、血圧、LDL、血糖値、喫煙

保健指導結果(終了・脱落・不参加)

2、使いやすいワークシートの提供

3、保健指導に関する評価支援

◆データの分析

モデル保険者を選定し、分析・評価の方向を検討したい

◆データを活用した事業の実施と分析

受診率向上支援(電話による受診勧奨)とその評価 ⇒ 今年度実施

◆突合システム⇒システム化により、今後の柔軟な対応が難しい部分もあり、状況を見ながら対応したい



レセプトとの突合の意味は何か？

レセプトの限界

- * レセプトは診療報酬明細書である。主病名と診療行為別に費用を積み上げるのは限界がある。
- * レセプトの病名には不確かな場合もありえる。

今回レセプトと健診結果を突合し見えてきたものは

- * 効果的な事業を実施する手がかりとしての突合

①ターゲットを絞るための手がかり

受診率向上、保健指導実施率の向上のための対象のセグメント化の手がかりとなる。

セグメント化により具体的な支援の方法を対象別に工夫することで実効性を高める

②保健指導の効果測定の手がかり

新たなレセプトの発生

レセプト病名に重症化病名が増える

レセプトが発生しない ⇒ 保健指導効果？治療効果？改善の手がかり



保健指導の見直しの手がかり

③個人を支援する手がかり

個別を特定し、縦覧することにより健康状況が把握できる。変化に対応できる。

現在のレセプトの状況で、健診データとの突合により「医療費削減の効果」と直結するような資料は難しい。

地域や集団としての変化(生活習慣病5疾病レセプトの増減、重症化疾患等の変化)および個人の健康状況の変化を見ることは有用であると感じる。